

東北大鬼城句会報 二〇〇八年三月二八日(金) 於：学士会館

第十七回 句会 兼題：絵踏 曲水 西行忌 霏 彼岸。当季雑詠を含む五句。

村上谿聲 選 ◎特選 ◇佳作 (囲い文字は特選互選句 Ex. 如)

◎彼岸会や同胞欠けず打揃ひ 蓮囲池

※直系・傍系いずれにせよ尊属の供養は覚悟の上のことだが、兄弟姉妹はつらいものだ。われらが齢を重ねても「打揃ひ」というのはめでたい。

◎絵踏して心閉させし遊女かな 俊知

※神の前の平等を説いたキリストの教義は、身分制社会であった日本の最底辺の遊女に希望を与えた。しかし、「絵踏」した遊女は深く心を閉ざしたのである。原句：閉ざしし。

◎暮れなづむ仏舍利塔や霏れり 修人

※中国かインドかは知らないが、「暮れなづむ」との措辞に、「霏」の季節がぴったりと合っている。

◎狐狸庵の神父の沈黙絵踏かな 如雨

※

◇黄砂舞ふ長江の空ひとつづき 蓮囲池

◇山家集繙き偲ぶ西行忌 弁慶

◇いきなりの雪も花かと西行忌 如雨

◇もののふに花の心ぞ西行忌 修人

◇変はる町変はらぬ老舗彼岸かな 修人

◇曲水や義之が詩作の宴をはり 弁慶

◇絵踏せぬ殉教の像長崎に 蓮囲池

◇春塵にマスクゴーグル怪人相 仲安

◇霏や偏西風に乗りいにしえも 弁慶

◇傷多し思ひ出語る古き雛 仲安

◇旅心なほ止みがたく西行忌 游悦

◇亡き母と夢で語らふ彼岸かな 弁慶

◇霏らす国の横綱塩をふる 貞風

◇波入の磯穏やかに彼岸前 隆一

◇白雪に映える紺青ニコライ堂 三甫

◇川べりにぼつりぼつりと露のとう 啓窓

(互選高点句・特選句より)

五点 黄砂舞ふ長江の空ひとつづき 蓮囲池

四点 もののふに花の心ぞ西行忌 修人

四点 変はる町変はらぬ老舗彼岸かな 修人

三点 いきなりの雪も花かと西行忌 如雨

三点 暮れなづむ仏舍利塔や霏れり 修人

二点 狐狸庵の神父の沈黙絵踏かな 如雨

二点 曲水や歳時記めくり独り酒 修人

一点 巡錫の秩父札所や西行忌 蓮囲池

村上谿聲作

かんばせ まなじり

容の細き 眦 古ひひな

バテレンの地の果てに遭ふ絵踏かな

展覧の作家の遺書や涅槃西風

霏や唐天竺も指呼の間